

西濃圏域合併協議会開かれる

平成15年度予算 7,200万円

2月28日大垣フォーラムホテルで法定の第1回合併協議会が開かれ、事業計画や平成15年度の予算案が承認されました。合併を協議するだけで、年間7,200万円もかかります。

予算の主な内容を見ると・・・

会議費 1,607万円 報酬661万円、会議会場借上げ料367万円
 報酬は市長・町長や職員には支給されませんが、議員と学識経験者に支給されます。
 議員は報酬の2重取りとなります。
 調査研究費 3,276万円 そのうち委託料が3,130万円。
 広報費 1,449万円 ホームページ委託料、会場設営委託料で265万円。

今後、協議のなかで問題になりそうな課題

新市の名称を「大垣市」と提案されたが、決まりませんでした。議員定数が170人から46人となり、議員1人に対し住民1,764人だったのが、合併後は6,521人となり、議会が住民にとって遠い存在になります。 住民負担の格差 自治体の借金と預金 するなど

自治体	大垣市	養老町	上石津町	垂井町	関ヶ原町	神戸町	輪之内町	安八町	墨俣町	池田町	合計
合併前議員定数	28	21	12	20	14	16	15	16	10	18	170
合併後議員定数	23	5	1	5	1	3	1	2	1	4	46

自治体	大垣市	養老町	上石津町	垂井町	関ヶ原町	神戸町	輪之内町	安八町	墨俣町	池田町
下水料金	1,000	1,600	2,000	2,000	1,800			1,500		
住民1人当たりの借金	363,880	230,960	450,738	257,115	256,225	164,522	147,587	271,399	102,151	176,539
住民1人当たりの預金	33,239	62,981	270,154	93,143	285,451	92,129	253,057	122,331	226,597	88,564

大垣市 合併を意識してか 一億円積立金計上

昨年9月議会で「垣老」の改悪案が出され、この4月より「垣老」対象年齢が六七歳に引き上げられます。また、平成一五年度の予算案では、財政が厳しく、乳幼児医療費無料化のような、切実な要求も実現されていないのに、なぜか1億円の積立金が計上されています。大垣市は、借金は多く、貯金は一番少ないこともあり、今から合併にむけて準備をしているのか・・・この調子でいくと、「垣老」など大垣市の優れている住民サービスが合併までもっと切り下げられる可能性があるのではと疑いたくなります。